TOKYO BAPTIST CHURCH 東京バプテスト教会
Weekend Message
週末メッセージが聞けます http://tokyobaptist.org/sermons/

力の福音　子どもと親

エフェソの信徒への手紙 6 章 1～4 節

2024 年 1 月 6 日 & 7 日

余沢 武　牧師

Ⅰ. はじめに

あけましておめでとうございます！すてきな新年のお休みを過ごされたことと思います。ご存じのとおり、石川県で大地震がありました。被害に遭われた方々のために祈り続けましょう。災害救助のために献金を捧げたい方は、封筒あるいはオンラインでの献金も「石川地震」と書いてください。

今日は、エフェソの信徒への手紙に戻ります。今までイエスを信じることにより、私たちが光の子どもとなり、この世の闇を照らすことになると学んできました。しかし、そうするには、私たちは聖霊に満たされる必要があります。つまり、常に聖霊と対話をし、耳を傾けること、そうすると私たちの人生に変化が起きます。そして他の人と喜びを分かち合い、イエスを賛美し、神に感謝を捧げ、お互いに仕え合うようになるのです。

これまでは、夫と妻がどのようにお互いに仕え合うかを見てきました。
今日は、子どもと親がどのように互いに仕え合うかを見ていきましょう。まずは、祈りましょう。

Ⅱ. 子どもと親

(1)両親に従いなさい

エフェソの信徒への手紙第 6 章 1 節を開きましょう。「[1] 子どもたち、主にあって両親に従いなさい。それは正しいことだからです。」

ここでの「子ども」という言葉は、成長過程にある、親の元で扶養されている子どもを指しています。ですから、後の 4 節でパウロが親に対し、どのように子どもを「育て」るかを教えているのです。

パウロによれば、まだ親の保護下にいるなら、「主にあって」親に従うことが義務であると言っています。つまり、イエスと一体である者として、イエスのご性質に従って、その性質を反映しなさいということです。イエスが 12 歳の時に家族と共にエルサレムの神殿を訪れた後の出来事が書かれています。ルカによる福音書 2 章 51 節では「それから、イエスは一緒に下って行き、ナザレに帰り、両親にお仕えになった。」と書かれています。イエスのようになるとは、両親に従順であるということです。ただし、両親が神に逆らうように言う場合は別です。

実際に、2 節から 3 節にはこうあります。「『父と母を敬いなさい。』これは第一の戒めで、次の約束を伴います。『そうすれば、あなたは幸せになり、地上で長く生きることができる。』」。

私たちは見過しがちですが、神は私たちが、子どもだけでなく大人も、どのように自分の両親に接するかを気にしておられます。パウロは、出エジプト記第 20 章の十戒に注意を向けさせています。十戒は二つの石板に分けられています。一つ目の石板は、私たちの「神への務め」に関するものであり、二つ目の石板は、私たちの「人への務め」に関するものです。

一つ目の石板ははじめの四つの戒めが書かれていると伝統的に、クリスチャンは考えます。第五の戒めである「父と母を敬いなさい。」は、「人への務め」の中で一番重要な戒めで、二つ目の石板の最初に置かれます。この戒めは、「そうすれば、あなたは幸せになり、地上で長く生きることができる。」（第 12 節）という約束を伴っています。

しかし、興味深いことに、ユダヤ人は十戒の第五の戒めを一つ目の石板に置き、私たちの「神への務め」と捉えているのです。

それだけではなく、十戒の中では、「神への務め」に違反した者は死刑にされます。十戒の第五の戒めに関して次のことが書かれています。

出エジプト記第 21 章 15 節:「自分の父や母を打つ者は必ず死なければならない。」
出エジプト記第 21 章 17 節:「自分の父や母を呪う者は必ず死なければならない。」

でもなぜでしょうか？私たちの「親に対する従順」とは「神に対する従順」を反映しているからです。このように子どもたちは、親に従うことを通して神に従うことを学ぶのです。目に見える地上の両親に従うことを学ばずに、目に見えない天の父に従うことはできないのです。

だから子どもたちは、親に従うことで、親を敬うべきなのです。結婚して、もう親の養育を受けない大人になった子どもたちも「親を敬い」、「老後の面倒を見る」ことにより、親を敬うのです。

多くの場合、親を敬うとは、親に従うことを意味します。もし親が「コーヒーを入れてくれますか」と言った場合、親を敬うことは、コーヒーを淹れることなのです。「ごめんね、お母さん、私はもう結婚しているんだ」とか「私はもう独立している」とは言ってはいけません。聖霊に満たされているとき、私たちが親に従うとはこういうことです。

(2)父親たち、子どもを怒らせてはなりません

パウロは次に、親に向けて、親が仕えるべきことについて話しています。**第 4 節**です。**「父親たち、子どもを怒らせず、主のしつけと諭しによって育てなさい。」**

「父親たち」は家族の頭で、ここでは**「父親たち」**という言葉が使われていますが、この命令は、父親と母親、両方の親に対するものです。両親は、「子どもたちを怒らせ」ないことにより、子どもに仕えなくてはなりません。

かつて私が大きく混雑した交差点の近くを歩いていた時、一台の車が私の目の前で止まりました。車のドアが開き、5, 6 歳と思われる小さな男の子が車から降りるように父親に言われていました。男の子は降りたがってはいませんでしたが、父親は男の子に降りるよう厳しく命令していました。

仕方なく、その子は降りました。父親は、その子を置いて家族と一緒に車で行ってしまいました。男の子はショックを受けて泣きながら立ち尽くし、何をして良いか分かりませんでした。私がその子を警察に連れて行こうとした時、その父親の車が戻ってきました。男の子は、車に乗せてもらえて、家族と去って行きました。

その男の子が感じた怖さを想像してみてください。親は自分の権威を間違って使うことがあります。自分の子どもに対し、決して他の人にはしないやり方で厳しく接し、子どもを怒らせるのです。

- 度を越えた厳しいしつけ。
- 勉強やスポーツ等における理不尽な要求。子どもに対し、親の夢や基準を満たすよう強制すること。
- 一貫しないルールや罰。または侮辱したり無視すること。
- 子どもの成長や個性を認めないこと。
- 不公平な比較。いつも口うるさくし、非難すること。

パウロは、このような事を「しないように」と言い、しかし、「主のしつけと諭しによって育てなさい」と言っています。

「しつけ」とは、規律による訓練で、罰が伴うことさえあります。「諭し」は、言葉による教育や矯正を指します。「主の」とは、「しつけ」と「諭し」がイエスのものであるという意味です。親は、子どもたちをイエスが主であり救い主であると知るように育てるために、あくまでもイエスの代理をしているのに過ぎません。

どのようにしたら良いのでしょうか？質問です。トミーという小さな男の子がおもちゃの電車で遊んでいるとします。お兄ちゃんのジェームスが家に帰って来て、トミーを押しのけ、電車を取り上げました。トミーは泣き出してしまいました。

お母さんがそれを見て、ジェームスのお尻を叩いて、「イエス様はあなたの兄弟を愛さなくてはいけないと言っているでしょ。ごめんなさいと言って、おもちゃを弟に返しなさい」と言いました。ジェームスは、ごめんなさいと言って、電車をトミーに返しました。これは「主のしつけと諭し」でしょうか？

もう一つ例を挙げます。ピーターの両親が決めた勉強時間である夜の 9 時になりました。お父さんは、ピーターがコンピュータゲームで遊んでいるのを見つけ、「聖書は両親に従いなさいと言っているぞ。勉強時間中に、また遊んでいるのを見つけたら、来週のお小遣

いはなしだ。」と言いました。ピーターはお父さんに従いました。

もう一度お尋ねしますが、これは「主のしつけと諭し」でしょうか？これらは、「行動の修正」です。正しく行われれば良いでしょう。罪の結果を教えることができるでしょう。でもこれだけでは、子どもたちをイエスに導くものではありません。

パウロが「「主のしつけと諭しによって育てなさい」と言っているのは、あらゆる決断に影響を与えるような「イエスとの関係」を子どもの心の中に育みなさいと親に言っているのです。では、どのようにすれば良いのでしょうか？

第一に、神の言葉を通して子どもの罪を示しましょう。「ほかの子のおもちゃを取り上げること」は「隣人を愛する」、「ルールを破ること」は「両親に従う」ことではないことを。そして、私たちも同じく「愛せていないこと」や「不従順」の罪に苦しんでいることをシェアしましょう。

第二に、子どもたちを十字架のもとに連れて行きましょう。イエスが私たちの罪を背負って、私たちのために十字架の上で死んでくださったことを伝えましょう。このようにして、私たちは赦されるのです。

第三に、赦されたあとでも私たちはまだ苦しんでいるということを伝えましょう。しかし、イエスは私たちの中に聖霊をくださったので、苦しんでいる時に祈ると、聖霊が助けてくださり、私たちが少しずつ変わっていくのを助けてくださいます。

第四に、私たちの希望についてシェアしましょう。いつの日か私たちを完全に変えてくださるとイエスが約束してくださったからです。子どもたちに、イエスに赦してもらいたいか、変えてもらいたいかを尋ねましょう。答えを強制しないでください。ただ、一緒に祈ってください。これこそがクリスチャンの子育てです。良い振る舞いや良い成績ではないのです。

(3)まとめ

しかし、忘れないでください。「聖霊に満たされ」なければ、これらのことは出来ません。
親が厳しく支配的であれば特に、子どもたちは「聖霊に満たされている」とき、すなわち、常に主と対話し、耳を傾けている時にしか、親に従い、敬うことができません。
親は、「聖霊に満たされている」とき、すなわち、主と常に対話し、耳を傾けている時にしか、子どもたちを怒らせないようにし、主のしつけと諭しによって育てることができません。

常に聖霊と対話し耳を傾けている人は、自分がいかに罪深く、「主の御心」、つまり「神のご性質」を備えた「神の子ども」からかけ離れているかに気づくものだ、ということをこの数週間で学んできました。そのような人は謙虚になります。

そのような謙虚さの中で、「神のご性質」を示そうと、他の人に仕えたいと願うようになります。誰かがそのような人に向かって声を荒げ、そのような人が相手を非難するのではなく、声を荒げ返すなら、「神のご性質」を示せなかった自分の過ちに気づくでしょう。

かれらはすぐに聖霊に語り掛け、耳を傾け、自分の罪を告白し、助けを求め、聖霊に従うでしょう。そして、相手のところに行き、赦しを請うでしょう。

同様に、「聖霊に満たされた」子どもや親は、親や子どもが声を荒げたとしても、声を荒げた者を非難するのではなく、自らも声を荒げ返すなら、「神のご性質」を示すことができなかったと気づくのです。

そのような人は、すぐに聖霊に語りかけ、耳を傾け、罪を告白し、御言葉に従い、その親や子どものところに行って赦しを請うのです。そして、このプロセスを通して、子ども達は親に従い、敬うことを学びます。
親は子どもたちを怒らせず、主のしつけと諭しによって、祈りながら子どもを育てることを学びます。

もしかしたら、親や子供に赦しを請う必要がある人もいるかもしれません。ぜひ今日赦しを請うてください。そして、聖霊に満たされて、クワイエットタイム(祈りと聖書のひと時)を持ち、常に祈るように習慣づけてください。

もし、あなたがクリスチャンではなく、両親や子どものことで悩まれているなら、イエスのもとに来てください。罪を告白してください。イエスがあなたを救い、

あなたを変えてくださるよう求めてください。イエスはそうしてくださるでしょう。ぜひ、今日そのようにしてください。

指定のない限り聖書は協会共同訳を使用しています。
聖書 協会共同訳: ©日本聖書協会
Japan Bible Society, Tokyo 201

キリストのことをもっと知りたい
洗礼を受けたいという方はこちら
メール：cc@tokyobaptist.org
もしくは：https://t-b-c.us/cc

TBC Life 申込み
（毎週届くメールニュース）
http://t-b-c.us/tbclife

SG レッスンの PDF
https://t-b-c.us/sg0224jp

★クラス 301
自分の賜物発見クラス
1月 28 日（日）1:00pm - 5:00pm
参加条件: クラス 101&201 を修了した方

★クラス 401
人生の使命を発見する
2 月 18 日（日）1:00pm - 5:00pm
参加条件: クラス 301 まで修了した TBC 教会員

https://t-b-c.us/classes

オンライン献金
http://t-b-c.us/give

スモールグループ参加申込み
http://t-b-c.us/sgsu

奉仕者募集中！

1．日本語字幕オペレーター
月 1～各礼拝の時間の日本語字幕のページを矢印キーで押していく作業。コンピュータースキルはいりません。
スキル：英語を聞いて日本語がどこを話しているかわかる程度の英語力

2．日本語訳字幕作成
月 1～土曜日 16 時に TBC にて作業します。Mac でプロプレゼンターというソフトで作成しますが、1，2 回のトレーニングで簡単に覚えられます。作成後、土曜日 19 時の礼拝の日本語訳字幕オペレーターもお願いしています。
スキル：英語を聞いて日本語がどこを話しているかわかる程度の英語力

3．週末礼拝メッセージ翻訳
1 か月半に 1 度くらいのペース
自宅での作業になります。
英語のメッセージ原稿を日本語に翻訳します。
スキル：英語と日本語が堪能な方

4．日本語訳レイアウト＆印刷（女性募集）
月 1～土曜日 16 時に TBC にて作業します。
MS Word を使用してひな形に入れてレイアウトし印刷します。
スキル：MS Word の簡単な操作ができる方。英語のスキルは必要ありません。

*TBC の教会員であることが必須です。

連絡先：hiromik@tokyobaptist.org